

「臨床婦人科産科」第 72 巻 総目次

2018 年（第 1 号～第 12 号）

数字は通巻頁数、（ ）は号数

今月の臨床

●産婦人科感染症の診断・管理—その秘訣とピット フォール (1)

〈性感染症〉

性器クラミジアの基礎と臨床

野口 靖之…………… 6

尖圭コンジローマの基礎と臨床

広瀬 崇興……………12

梅毒の基礎と臨床

大西 真・金井 瑞恵……………19

淋菌感染症の基礎と臨床

濱砂 良……………25

〈不妊につながる感染症〉

不妊につながる感染症

平野 由紀・松岡 理恵・坂根 理矢
原田佳世子・田中 宏幸・柴原 浩章……………36

〈母子感染症〉

胎児超音波からみた母子感染症

小松 篤史……………49

風疹

平原 史樹・奥田 美加……………57

サイトメガロウイルス

谷村 憲司・山田 秀人……………64

トキソプラズマ

出口 雅士・山田 秀人……………71

性器ヘルペスと新生児ヘルペス

土屋 裕子……………77

成人 T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1)

齋藤 滋……………82

HIV

谷口 晴記・山田 理佳・喜多 恒和
塚原 優己……………88

HBV

久保 隆彦……………93

HCV

深澤 一雄・稲葉 憲之……………101

ジカウイルス

森内 浩幸……………106

〈早産と周産期感染症〉

絨毛膜羊膜炎と周産期感染

大槻 克文……………114

早産の機序と生体反応

永松 健……………125

ウレアプラズマの基礎

不破 一将・早川 智……………132

ウレアプラズマ・マイコプラズマと臨床

萩原 真生・山岸 由佳・三嶋 廣繁……………139

〈HPV 感染症〉

HPV のウイルス学と発がん

田口 歩……………144

HPV 検査の活用

村上 功・岩田 卓・森定 徹

青木 大輔……………150

HPV ワクチンの有効性・安全性の評価と積極的勧奨
一時中止継続の弊害

上田 豊・八木 麻未・木村 正……………158

〈周術期感染症を含む重症感染症〉

劇症型 A 群レンサ球菌感染症 (GAS)

石橋 理子・喜多 恒和……………166

●ホルモン補充療法ベストプラクティス—いつから始
める？ いつまで続ける？ 何に注意する？ (2)

安全で効果的なホルモン補充療法の実施法

岡野 浩哉……………202

〈ホルモン製剤による違い〉

エストロゲンの種類とその特徴

安井 敏之……………212

黄体ホルモンの種類とその特徴

倉林 工・森川 香子……………222

〈効果と注意点（発がんリスクを除いて）〉

効果が期待できる閉経周辺期の症状

牧田 和也……………232

HRT 開始時期—タイミング仮説

篠原 康……………238

HRT 投与期間—いつまで投与できるか？

樋口 毅……………244

閉経期ホルモン療法と静脈血栓塞栓症

寺内 公一……………253

内科疾患合併症患者に対する HRT

望月 善子	260
〈悪性腫瘍との関連〉	
HRT の発がんリスク	
尾林 聡	266
BRCA 遺伝子変異を有する女性への HRT	
高松 潔・橋本 志歩・杉山 重里	
小川真里子	272
がんサバイバーに対する HRT	
佐々木 浩	278
●ここが知りたい！ 早産の予知・予防の最前線 (3)	
〈早産の予知〉	
Q. 子宮頸管長の正しい測定法とその臨床的意義は？	
山下 隆博	302
Q. 早産予知に有用な子宮頸部生化学マーカーは？	
大口 昭英	308
〈早産の予防：予防的子宮頸管縫縮術〉	
Q. 子宮頸部円錐切除後妊娠における予防的頸管縫縮術の適応は？	
大槻 克文	314
Q. 広汎性子宮頸部摘出術における予防的子宮頸管縫縮術の必要性は？	
春日 義史・田中 京子・宮越 敬	
田中 守	322
Q. 双胎妊娠における予防的子宮頸管縫縮術の有効性と適応は？	
高橋雄一郎	328
Q. super twin における予防的子宮頸管縫縮術の有効性と適応は？	
中西研太郎・石井 桂介	335
〈早産の予防：薬物療法〉	
Q. 早産予防における塩酸リトドリンの長期投与の有効性と副作用は？	
兵藤 博信	341
Q. 早産予防における硫酸マグネシウムの長期投与に伴う母子への副作用は？	
田中 博明・池田 智明	347
Q. 早産予防における黄体ホルモン療法の現状と展望は？	
中井 章人	352
Q. 早産治療・予防におけるウリナスタチン製剤の有効性は？	
金山 尚裕	360
Q. 腔内環境改善を目的としたプレバイオティクスの早産予防効果は？—ラクトフェリンによる早産予防効果について	
大槻 克文	368
〈子宮収縮抑制薬の応用〉	
Q. rapid tocolysis の適応と方法は？	

村越 毅	376
●産婦人科外来パーフェクトガイド—いまのトレンドを逃さずチェック！ (4)	
〈症状編〉	
代表的な症状からの疾患鑑別《婦人科外来》	
原発性無月経	
齊藤 真・榊原 秀也	6
不正性器出血/過多月経/希発月経	
梶原 健	11
帯下異常	
江川 美保	16
外陰部の発疹	
小川真里子・高松 潔	20
のぼせ/異常発汗/動悸	
安井 敏之	24
卵巣の腫大	
川口 龍二・小林 浩	30
代表的な症状からの疾患鑑別《産科外来》	
妊婦の頭痛	
大野 泰正	36
妊婦の血小板減少	
宮川 義隆	42
妊婦の発熱	
田中 宏和	46
妊婦の腹痛	
堤 誠司	52
妊婦の嘔気・嘔吐	
瀬山 貴博	58
〈疾患編 1〉	
思春期・月経異常《月経異常》	
視床下部・下垂性無月経	
矢野 清人・松崎 利也・柳原 里江	
岩佐 武・苛原 稔	64
早発卵巣不全	
河村 和弘	69
多嚢胞性卵巣症候群	
井上 尚実・河野 康志・檜原 久司	74
月経困難症	
百枝 幹雄	79
月経前症候群	
望月 善子	82
思春期・月経異常《性・性活動》	
性同一性障害	
石原 理	87
経口避妊薬/緊急避妊	
北村 邦夫	90
月経周期調節	
安達 知子	97

〈疾患編 2〉	高橋 聡太・齋藤 昌利・菅原 準一……………	202
不妊・不育《不妊の検査》	絨毛膜羊膜炎	
卵巣予備能の評価	佐藤 昌司……………	208
卵胞発育モニタリング	胎児機能不全	
折坂 誠・宮崎有美子・山本 輝……………	藤森 敬也・経塚 標・安田 俊……………	212
卵管疎通性検査	前置胎盤	
高見澤 聡……………	仲村 将光……………	216
子宮鏡検査	常位胎盤早期剥離	
升田 博隆……………	進藤 亮輔・青木 茂……………	220
精液検査/抗精子抗体検査	妊娠高血圧症候群	
脇本 裕・杉山由希子・柴原 浩章……………	森川 守……………	224
続発性不妊症の検査	周産期心筋症	
原田 竜也……………	松永 茂剛・中村 永信……………	230
不妊・不育《一般不妊治療》	羊水塞栓症	
クロミフェン療法	田村 直顕……………	236
西村 杏子・川越 淳・永瀬 智……………	子宮復古不全	
ゴナドトロピン療法	成瀬 勝彦……………	242
木田 尚子・松本 みお・岡田 英孝……………	乳腺炎	
ドパミンアゴニスト療法	西口 富三……………	247
北原 慈和・岸 裕司……………	周産期《妊婦のコモンディージーズ》	
メトホルミン療法	かぜ症候群/インフルエンザ	
高橋 俊文……………	中里 紀彦・兵藤 博信……………	251
卵管鏡下卵管形成術	単純ヘルペスウイルス感染症	
福田 愛作……………	川名 尚……………	255
不妊・不育《人工授精》	B 群溶連菌 (GBS) 感染症	
配偶者間人工授精 (AIH)	鈴木 俊治……………	262
笠井 剛……………	片頭痛	
提供精子を用いた人工授精 (AID)	小島 真奈……………	268
浜谷 敏生・小川 誠司・久慈 直昭	腰痛/骨盤周囲痛	
田中 守……………	小西 久也・大鷹 美子……………	273
不妊・不育《不育症診療》	尿路感染症	
不育症の診断法	田中 幹二・小玉 都萌……………	281
竹下 俊行……………	下肢静脈瘤	
抗リン脂質抗体症候群	永松 健……………	285
杉浦 真弓……………	周産期《妊婦・褥婦の合併疾患とその増悪》	
頸管無力症	糖尿病性ケトアシドーシス/劇症 1 型糖尿病	
大槻 克文・小松 玲奈・西 健	杉山 隆……………	288
安藤 智……………	気管支喘息の増悪	
染色体構造異常	牧野 郁子・牧野 吉朗・牧野 康男……………	296
小澤 伸晃・丸山 哲夫……………	Basedow 病の再燃・増悪	
〈疾患編 3〉	荒田 尚子……………	303
周産期《周産期疾患》	潜在性甲状腺機能低下症の管理	
異所性妊娠	岡崎 有香・荒田 尚子……………	307
難波 聡・岡島 多希……………	てんかん発作	
胞状奇胎/存続絨毛症	加藤 昌明……………	311
松井 英雄・菅野 俊幸……………	精神疾患の増悪/産後うつ	
切迫流早産	鈴木 利人……………	315

〈疾患編 4〉		角張 玲沙・上田 豊・木村 正……………	429
更年期・老年期		子宮体がんに対する MPA 療法	
更年期障害		田中 良道……………	433
高松 潔・吉丸 真澄・小川真里子……………	320	侵入奇胎・絨毛がんに対する薬物療法	
月経不順/不正性器出血		井篁 一彦・岩橋 尚幸・野口 智子	
尾林 聡……………	330	八幡 環……………	437
萎縮性肺炎		悪性腫瘍《術後フォロー》	
寺内 公一……………	335	子宮頸がんの治療後フォロー	
骨粗鬆症		宇津木久仁子……………	441
岡野 浩哉……………	340	子宮体がんの術後フォロー	
下部尿路症状		寺田 貴武・牛嶋 公生……………	446
田辺 晃子……………	351	卵巣がんの術後フォロー	
骨盤臓器脱 (POP)		藤原 聡枝・大道 正英……………	450
古山 将康……………	360	●精子・卵子保存法の現在―「産む」選択肢をあきらめないために (5)	
〈疾患編 5〉		〈配偶子保存の必要性と課題〉	
性感染症		化学療法・放射線療法の妊孕性への影響	
クラミジア感染症		小川 誠司・山田 満稔・浜谷 敏生……………	410
岩破 一博……………	368	化学療法・放射線療法を受けた親から生まれた子ども	
尖圭コンジローマ		の予後	
野口 靖之・嶋津 光真……………	372	東梅 久子・高橋 望・早田季美恵	
梅毒		有本 貴英……………	417
宮内 彰人……………	376	配偶子凍結に伴う倫理的問題	
淋菌感染症		中塚 幹也……………	424
岩破 一博……………	380	〈配偶子保存の臨床〉	
トリコモナス症		精子凍結	
野口 靖之・嶋津 光真……………	386	蔵本 武志……………	429
性器カンジダ症		精巣内細胞の凍結保存	
宮内 彰人……………	389	岡田 弘……………	438
〈疾患編 6〉		卵子凍結	
良性婦人科疾患		堀江 昭史・谷 洋彦・万代 昌紀……………	444
子宮筋腫		悪性腫瘍以外の理由による卵子凍結	
秋野 なな・平池 修……………	394	菊地 盤・香川 則子・野島美知夫	
子宮内膜症/子宮腺筋症		吉田 幸洋……………	450
百枝 幹雄……………	398	がん患者に対する卵巣組織凍結保存の実際	
卵巣腫瘍/卵巣嚢胞		澤田 紫乃・杉下 陽堂・鈴木 直……………	457
樋口 毅……………	402	凍結卵巣移植に伴う問題点	
バルトリン腺嚢腫		京野 廣一・小幡隆一郎・橋本 朋子……………	464
北出 尚子・齋藤 俊章……………	407	〈配偶子保存法の周辺技術〉	
〈疾患編 7〉		ランダムスタート法による卵巣刺激	
悪性腫瘍《がん検診》		浮田 祐司・脇本 裕・柴原 浩章……………	468
子宮頸がん検診/検診異常の精査		ホルモン感受性悪性腫瘍患者へのレトロゾール併用による卵巣刺激	
山口真奈子・石黒 竜也・榎本 隆之……………	412	生水真紀夫……………	474
子宮体がん検診/検診異常の精査		悪性腫瘍患者への低刺激法による採卵	
進 伸幸・齋藤 英子 田中 都生……………	418	山崎 裕行・加藤 恵一……………	479
乳がん検診			
藤野 敬史・小林 範子……………	424		
悪性腫瘍《予防・治療》			
子宮頸がんワクチン			

●がん免疫療法の新展開―「知らない」ではすまない
今のトレンド (6)

今日のがん免疫療法をわかりやすく理解するために 万代 昌紀・濱西 潤三・安彦 郁 馬場 長……………	518
〈がん免疫療法の分類と作用機序〉 腫瘍免疫の新しい理解と免疫療法のターゲット 田中 淳・坂口 志文……………	524
免疫チェックポイント阻害薬とは何か 濱西 潤三・万代 昌紀……………	530
がんワクチン療法とは何か 馬淵 誠士・甲村奈緒子・横井恵理子 木村 正……………	542
免疫細胞療法とは何か 後藤 重則・神垣 隆・瀧澤 憲……………	550
〈婦人科がんに対する免疫療法〉 子宮頸がん、子宮体がんに対する免疫療法の動向 川名 敬……………	558
卵巣がんに対する免疫療法の動向 長谷川幸清・佐藤 翔・西川 忠暁……………	566
〈がん免疫療法の応用と問題点―婦人科腫瘍を中心に〉 抗がん剤・放射線・分子標的薬を免疫療法とどのように 併用するか？ 村上 幸祐・松村 謙臣……………	572
免疫チェックポイント阻害薬の効果と関係するがん免 疫病態 河上 裕……………	578
免疫療法にはどのような問題点・副作用があるか？ 河野光一郎・牛嶋 公生……………	584
がん能動免疫療法の将来展望 西村 泰治……………	592
●完全マスター！ 妊娠高血圧症候群―PIHから HDPへ (7)	
〈病態と新定義〉 妊娠高血圧症候群の新たな定義・臨床分類 渡辺 員支……………	634
妊娠高血圧症候群の病態に関する最近の知見 松井 遥香・入山 高行……………	640
〈妊娠高血圧症候群の疫学〉 出生三代目コホートからみた個別化医療と予防の展望 菅原 準……………	646
胎盤特異的 microRNA の発現解析からみた発症予測 三浦 清徳・東島 愛・増崎 英明……………	653
〈妊娠高血圧症候群の予防と治療〉 家庭血圧測定の有用性 大口 昭英……………	659
白衣高血圧の臨床的意義 目時 弘仁……………	665

アスピリンを用いた予防 佐藤 陽一・小川 正樹……………	671
降圧薬選択の問題点と展望 関 博之……………	675
PDE5 阻害薬の有効性の検討 真木晋太郎・田中 博明・池田 智明……………	682
〈病理〉 妊娠高血圧症候群における胎盤病理所見の特徴 南口早智子……………	690
〈新生児予後〉 妊娠高血圧症候群母体から出生した早産・低出生体重 児の神経発達予後 山本 将功……………	696
●スペシャリストに聞く 産婦人科でのアレルギー対 応法 (8)	
〈アレルギーの病態とアナフィラキシー〉 アレルギーとアナフィラキシー―概説とトピックス 永田 真……………	734
成人に起こるアナフィラキシーとその治療 中村 陽一……………	741
〈疾患各論〉 花粉症の治療と産科 上條 篤……………	750
喘息と妊娠、分娩 山本 祐華……………	758
「咳喘息」の実態と産科臨床での対応法 新実 彰男……………	763
成人食物アレルギーへの実践的対応 福富 友馬……………	770
ラテックスアレルギー、ラテックス-フルーツ症候群 矢上 晶子……………	777
胎児・新生児・乳児期におけるアレルギー予防対策 下条 直樹……………	782
輸血関連急性肺障害 (TRALI) 岡崎 仁……………	786
薬疹と薬物アレルギー 高村 直子・相原 道子……………	794
母乳栄養により発症する新生児・乳児消化管アレル ギー 久松千恵子……………	802
精液アレルギー 澤田 祐季・齋藤知恵子・松川 泰 佐藤 剛・杉浦 真弓……………	807
●症例検討会で突っ込まれないための“実践的”婦人 科画像の読み方 (9)	
〈総論〉 MRI と CT の使い分け 竹内麻由美・松崎 健司……………	834

MRI 画像：拡散強調像の特徴とその読み方	
山本 和宏	839
PET-CT 画像：読影時のピットフォール	
津吉 秀昭・吉田 好雄	855
CT 画像：RECIST 判定はこう行う	
高橋 哲	863
〈救急〉	
婦人科救急疾患を見逃さないためのポイント—卵巣腫瘍茎捻転・卵巣出血・PID など	
中井 豪	871
〈部位別各論：子宮頸部〉	
子宮頸部嚢胞性疾患の鑑別のポイント—ナボット嚢胞・LEGH・MDA	
木戸 晶・富樫かおり	881
子宮頸がん傍結合織浸潤の評価	
高濱 潤子	887
〈部位別各論：子宮体部〉	
子宮体がんの筋層浸潤評価はいかに行うか	
坪山 尚寛	896
子宮筋腫と肉腫の鑑別	
齋田 司・南 学	901
〈部位別各論：卵巣〉	
子宮内膜症：手術に際しての癒着の評価のポイント	
は？—想定外の癒着による手術困難を避けるために	
西山 哲・中山 幸彦・中園 貴彦	
横山 正俊	906
子宮内膜症性嚢胞癌化を示唆する画像の特徴は？	
棚瀬 康仁・小林 浩	912
卵巣がん：PDS か NAC + IDS か、画像からどう判断する？	
寺内 文敏	919
●糖代謝異常合併妊娠のベストマネジメント—成因から管理法，母児の予後まで (10)	
〈成因〉	
妊娠におけるインスリン抵抗性の発症機序—その生理的意義と産科合併症への関与	
安日 一郎	950
〈定義〉	
妊娠糖尿病の定義の変更に至る経緯・背景	
平松 祐司	958
〈スクリーニングの基礎〉	
妊娠中の糖代謝異常スクリーニングと診断の至適時期	
成瀬 勝彦	966
〈管理の基礎〉	
妊娠糖尿病に対する食事療法	
杉山 隆・金子 久恵	973
多胎妊娠における糖代謝異常	
竹田 善治	979
〈血糖管理・薬物治療の進歩〉	
持続血糖モニタリング (CGM) の応用による糖代謝異常合併妊娠の管理	
山下 洋	983
sensor augmented pump (SAP) を用いた妊娠中の血糖管理の特徴	
和栗 雅子	988
妊娠中における経口血糖降下薬の使用の可否	
安田 重光・野田 光彦	995
〈産科救急としての糖代謝異常〉	
劇症 1 型糖尿病と妊娠との関連	
堤 千春・今川 彰久	1001
〈出生児の予後と管理〉	
糖代謝異常合併母体児の短期予後と管理	
楠田 聡	1006
糖代謝異常合併母体児の長期予後	
菊池 透	1014
〈母体の予後〉	
GDM 患者の長期予後—2 型糖尿病発症のリスクについて	
荒田 尚子・川崎 麻紀	1018
●男性不妊アップデート—ART をする前に知っておきたい基礎知識 (11)	
男性不妊を疑ったらどうするか	
大橋 正和・森田 伸也・高松 公晴	1046
〈診断法〉	
標準化された精液検査法・自宅で行えるスマートフォンを利用する CASA システムについて	
渡邊 倫子・山崎 一恭・岩本 晃明	1054
男性不妊症における染色体・遺伝子検査	
木村 将貴・中川 徹	1062
抗精子抗体	
脇本 裕・杉山由希子・柴原 浩章	1068
〈薬物療法〉	
漢方療法のエビデンス	
武田 卓	1076
ビタミン・サプリメント療法のエビデンス	
辻村 晃	1081
低ゴナドトロピン性性腺機能低下症とその治療	
千葉 公嗣・藤澤 正人	1087
勃起障害・射精障害とその治療	
永尾 光一	1093
〈手術療法〉	
精路再建手術の適応と限界	
白石 晃司	1099
精索静脈瘤 (臨床・手術) の適応と限界	
湯村 寧・竹島 徹平・黒田晋之介	1106

〈ART と長期予後〉	
TESE の実際	
小林 秀行……………	1114
未熟雄性配偶子を用いた不妊治療の可能性	
田中 温……………	1120
男性不妊患者より出生した児の長期予後	
中林 章……………	1127
●女性のアンチエイジング—老化のメカニズムから予防・対処法まで (12)	
産婦人科学におけるアンチエイジング	
安井 敏之……………	1154
老化の基礎知識	
新井 康通……………	1162
〈アンチエイジングの戦略〉	
ホルモン補充療法	
寺内 公一……………	1168
漢方療法	
石谷 健・櫻井 友義・杉本 到……………	1176
栄養	
望月 善子……………	1182
運動	
佐々木 浩……………	1190
[コラム] プラセンタ療法	
小池 浩司・小池 大我……………	1198
〈部位別：老化のメカニズムと予防・対処法〉	
脳の老化	
田平 武……………	1201
血管のアンチエイジング	
篠原 康一……………	1207
骨の老化	
太田 邦明・高橋 俊文・水沼 英樹……………	1214
卵巣・卵子の老化	
高井 泰……………	1220
生殖器・泌尿器の老化	
樋口 毅……………	1228
皮膚の老化	
山田 秀和……………	1236

症例

産褥 78 日目に筋腫分娩となった子宮筋腫合併妊娠の 1 例	
安田 美樹・伊藤 雅之・小作 大賢 宮本 瞬輔・山崎 亮・多賀紗也香 村上 法子・津戸 寿幸・亀谷 英輝 ……………	185 (1)
治療介入のタイミングに苦慮した子宮内-卵管間質部同時妊娠の 1 例	
小作 大賢・伊藤 雅之・宮本 瞬輔	

山崎 亮・多賀紗也香・村上 法子 津戸 寿幸・亀谷 英輝……………	397 (3)
一過性大腿骨頭萎縮症により大腿骨頸部骨折を生じた双胎妊娠の 1 例	
船内 雅史・峯川 亮子・文 美智子 黄彩 実・竹井裕美子・山部 エリ 室谷 毅・細見 麻衣 土田 充 濱田 真一・山崎 正人・村田 雄二 許 太如・米田玄一郎……………	507 (5)
腹腔鏡下に手術施行した嚢胞性子宮腺筋症の 2 例	
佐々木高綱・松浦 美幸・山田 弘次 吉澤 順子・水田 裕久・山田 嘉彦 ……………	617 (6)
微小な卵巣奇形腫に対し腹腔鏡下手術を行った後に寛解に至った抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例	
糸井 瑞恵・平敷好一郎・春成 淳平 大塚 聡代・片山 恵里・藤田 久子 新井 未央・河原井麗正・井上 泰 木村 博昭……………	715 (7)
重症妊娠悪阻から Wernicke 脳症と Refeeding 症候群を発症した 1 例	
箕浦 麻陽・藤田 太輔・佐野 匠 鈴木 裕介・寺井 義人・大道 正英 ……………	721 (7)
広基性に単角子宮と連続している非交通性副角子宮に対して、腹腔鏡下副角子宮切除術を行った 1 例	
泉 玄太郎・森嶋かほる・山本 直子 原田美由紀・平田 哲也・甲賀かをり 平池 修・大須賀 稜・藤井 知行 ……………	823 (8)
帝王切開癒痕部妊娠に対し MTX を先行投与したうえで内視鏡下除去術を行い子宮を温存しえた 1 例	
西田 浩孝・中林 稔・山下 隆博 矢部慎一郎・川名有紀子・竹田 善治 安達 知子……………	937 (9)
硬膜外麻酔併用下で分娩管理を行った脊髄損傷合併妊娠の 1 例	
山崎 亮・伊藤 雅之・長谷川綾乃 箕浦 麻陽・成富 祥子・村上 法子 津戸 寿幸・加藤 俊・亀谷 英輝 ……………	1037 (10)

FOCUS

dose dense パクリタキセル/カルボプラチン療法にバシズマブの上乗せ効果があるか？	
武隈 宗孝……………	176 (1)
子宮頸がん HPV ゲノム変異	
小貫麻美子・松本 光司……………	387 (3)

大阪府がん登録データを用いた稀少がんの疫学的解析	
八木 麻未・田中 佑典・上田 豊	
吉野 潔・木村 正	494 (5)
子宮再生	
升田 博隆・丸山 哲夫	600 (6)
父親の加齢と胎児異常	
西山 深雪	1024 (10)

教訓的症例から学ぶ

産婦人科診療のピットフォール

出血を伴った筋腫分娩にマスクされ子宮摘出時に診断された子宮頸がん症例	
吉永 浩介	172 (1)
術前に診断困難であった直腸がん異時性びまん性子宮筋層転移の1症例	
中島 文香・丸山 康世・平吹 知雄	285 (2)
術前に境界悪性の診断が困難であった卵巣嚢腫の2例	
合阪 幸三・土屋富士子・末田 雅美	
板橋 香奈	383 (3)
卵巣腫瘍と術前診断し開腹手術を行ったところ後腹膜神経鞘腫であった1例	
佐藤 典子	488 (5)
術前に子宮筋腫と診断し子宮筋腫核出術を行った平滑筋肉腫の1症例	
坂本 公彦・木村 友沢・角田 肇	606 (6)
術前に卵巣腫瘍が疑われた外腸骨仮性動脈瘤の1例	
日向 悠・松井 仁志・長尾 充	704 (7)
急性妊娠脂肪肝とHELLP症候群の鑑別が困難であり帝王切開後に大量出血をきたした症例	
山下 博	812 (8)
脊髄くも膜下麻酔下の帝王切開後に硬膜下膿瘍をきたした症例	
西脇 哲二	926 (9)
軽快しない子宮留膿腫として発症した子宮頸部腺癌最小偏倚型の1例	
櫻井 信行・大石 真希・菅 裕佳子	1031 (10)
治療に苦慮した難治性リンパ嚢胞の1例	
舟本 寛	1134 (11)

性器脱のベッサリー療法中に発見された子宮体がんの2例	
田嶋 公久・辻 隆博・佐藤久美子	1243 (12)

Obstetric News (武久 徹)

子宮頸管長全例スクリーニングの効果と問題点 (3) — 米国産婦人科学会 2016 年	182 (1)
早産予防—推奨の要約 (米国産婦人科学会 2012 年 & 2016 年)	289 (2)
妊婦の梅毒	394 (3)
エストリオール錠内服による骨粗鬆症治療	501 (5)
高血圧と避妊	614 (6)
女性アスリート三主徴の治療と留意点	709 (7)
出生前診断—ダウン症候群①症例	817 (8)
出生前診断—ダウン症候群②—セルフフリー DNA 検査 (米国産婦人科学会委員会の見解)	932 (9)
経口避妊薬—延長使用と長期継続使用 (I)	1035 (10)
経口避妊薬—延長使用と長期継続使用 (II)	1140 (11)
誘発分娩を考える (1) —ローリスク未産婦：陣痛誘発 vs 待機管理 (ARRIVE trial)	1248 (12)

Estrogen series (矢沢珪二郎)

年収と寿命との関連	181 (1)
ハワイ大学と南カリフォルニア大学によるサルコペニアの多民族研究	284 (2)
パップスメアおよびマンモグラフィーの使用頻度	396 (3)
野菜や果物の農薬残留と妊娠	500 (5)
PCOS その1	612 (6)
PCOS その2	713 (7)
白人, 大卒, 男性の三条件がより高額給与に結びつく	820 (8)
Match Day	931 (9)
米国における自殺率の変化	1030 (10)
多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS)	1142 (11)
渡り鳥とウイルス	1250 (12)